

草の根技術協力（支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	パラオ共和国
2. 案件名	消化器癌スクリーニングのための医師養成体制の整備
3. 事業の背景と必要性	パラオ共和国は、東京の南 3,200km の赤道付近に位置する隣国であり、人口は約 1 万 8000 人、約 300 の島々から構成される。現地では慢性的な医師不足が深刻な問題であり、入院施設を有する総合病院も国内に一カ所（ベラウ国立病院）のみであり、科によっては専門医不在で医療レベルは十分とは言えない。本邦の ODA や海外の支援団体による医療機器の供与は進んでいるものの、十分に活用できていない状況である。2024 年 7 月に開催された島サミット 2024 においてパラオ共和国大統領から要請を受け、札幌医科大学は医師派遣を通じ、消化器癌スクリーニングのための医師養成体制の整備を行うこととなった。
4. プロジェクト目標	消化器癌スクリーニングのための医師養成体制が整備される
5. 対象地域	コロール（ベラウ国立病院: BNH, Belau National Hospital）
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	直接的受益者：現地医師 18 名 間接受益者：BNH 消化器内科受診者 1300 人/年間（胃；600 人、大腸 700 人）
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<アウトプット> 1.内視鏡指導教本（和文および英文）が作成・承認される。 2.内視鏡指導プログラムが作成・承認される。 <活動> 1-1 内視鏡指導教本企画書を作成する。 1-2 教本案について協議し、内容を精査する。 1-3 委員会を立ち上げ、全体構成・目次を決定し、執筆者を選定する。 1-4 プロジェクトマネージャーが執筆状況・進捗の確認、Web 会議による意見交換を実施する。 1-5 プロジェクトマネージャーが原稿の整理・統一、内容確認、翻訳（現地最終調整含む）、校正を行う。 1-6 委員会から原稿の最終承認を得る。 1-7 教本を製本・PDF 化し、関係者に配布・送付する。 2-1 指導プログラム案の作成委員会（BNH 医師含む）を設立する。 2-2 現地に医師を派遣し、指導プログラム案の協議を行う。 2-3 BNH 院長から指導プログラム案の承認を得る。 3-1 教本内容・指導プログラムの発表講演会（ハイブリッド）を実施する。
8. 実施期間	（西暦）2026 年 3 月～2027 年 9 月（1 年 7 ヶ月）
9. 事業費概算額	9,995 千円
10. 相手国側実施機関 （カウンターパート）	ベラウ国立病院
II. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	北海道公立大学法人札幌医科大学
2. 主な活動内容	医学・保健医療分野の教育・研究・医療を担う公立大学として、海外の大学・医療機関との連携を通じ、国際的に活躍できる医療人材の育成、研究・医療の国際化、高度な医療技術の共有による世界の医療水準向上に貢献している。